



今年はイギリスのロンドンで開催された夏季五輪で日本人選手の活躍が目立ちました。中でも、競泳メドレーリレーを始めとして、団体でのメダル獲得では、改めてチームの大切さを実感し、チーム医療にも通じるものがあるとの思いを重ねました。季節は寒くなりましたが、人と人の繋がりは強く、暖かいですね。これからもずっと大切にしていきたいです。第11号では、学生の近況について掲載しています。



### 1年生 ☆ 戴帽式 ☆

～責任を感じる・・・～

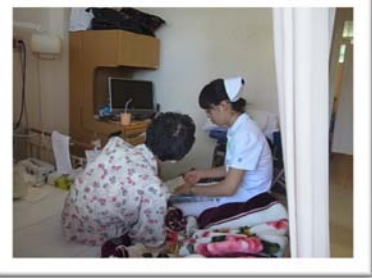


リーダーを中心に、みんなでどのような式にするのか考えて、10月26日当日を迎えました。たくさんの方々に見守られて、ナースキャップをつけてもらったとき、看護師を目指すものとしての喜びと、何より、とても大きな責任を感じました。また、戴帽式を通して、さらにクラスが団結し、クラス全員で、温かい看護師になれるよう、協力し合い、頑張っていきたいと思います。

### 2年生 ☆ 基礎看護学実習Ⅱ ☆

～成人看護学実習にむけて～

基礎看護学実習Ⅰを終えてから約半年が過ぎました。この半年でたくさんの科目の授業を受け、9月から10月にかけて12日間、基礎看護学実習Ⅱを行いました。患者様の症状や治療や検査が患者様の日常生活に与える影響や欲求の変化に気づき、少しでも患者様に元気になって頂けるように一生懸命援助を行いました。患者様を理解すること、観察の必要性を実感し、たくさん悩み、たくさん学習できた実習でした。来年1月からは成人看護学実習が始まります。今までの学習や、実習での学びを生かし、患者様に寄り添い、よい看護が行えるよう頑張っていきたいです。



### ☆ 市民公開講座 ☆

～ ころも体も健康に Part 2 ～

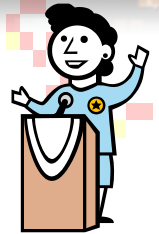
市民公開講座では、幅広い年齢層の方が約30名程参加され、学校の実習室で開催されました。昨年に続き、小牧恵理子先生をお呼びし、ヨガ体験・チャイの飲茶・オイルマッサージ（ボディ用ごま油）の体験をさせていただきました。地域の薬局の方の協力のもと、学生もボランティアとして参加し、指圧・骨密度・血流・体組成計の測定を行いました。参加者の方は、自分の結果に驚いたり、うなずいたり、様々な反応が見られました。参加者同士でも会話を楽しんでおられる姿が見え、「家でもやりたい」「来年もしてほしいっ！」という感想を頂き、来年も皆様に楽しんで頂けるよう実施できたらなあと思います。



## ☆第66回国立病院総合医学会☆

### ～未来と希望のきずな～

11月16日(金)、17日(土)に、日本全国の独立行政法人国立病院機構が一堂に会しての第66回国立病院総合医学会が神戸の地で開催されました。テーマは「未来と希望のきずな」とされ、我が校からも、2・3年生が参加し、学びを深めてきました。全国144の病院ネットワークにあるからこそ様々な事例や収集されたデータをもとにシンポジウムや講演、ポスター発表が行われました。様々な病院で行われた取り組みをもとにした成果や課題に触れることで、自分の看護を見直し、高める機会となりました。また、登山家の田部井さんから、人生の生き方に対するお話を聞く機会があったりと、普段の日常では学べない多くのものに触れて帰ってきました。この経験や体験で得たことをこれからの私たちにとって生かせるように頑張ります。



## 3年生 ☆統合実習☆

### ～あとは国試に向けて～



12月3日から12日間、3年生最後の実習として統合実習を行いました。今まで、3年かけて学んできた知識や技術の集大成として、患者様のためにどんな看護を行ったらいいのかを、これまでの学習を振り返りながら行いました。今までの実習とは違い、複数の患者様を受け持ちさせていただくことで、より実務に近い内容で看護を学ぶことができました。私たちひとりひとりがチームの一員であり、患者様がより「安全で」「安心して」療養できるように、「報告」「連絡」「相談」出来るように頑張っていきます。

実習でお世話になった患者様、病院スタッフの方々に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。国家試験まであと60日を切りました。残りの時間を大切に、必ず全員合格してみせます。



## ☆各学年の近況報告☆

### ～あと少しで・・・～

1年生・・・1月31日(木)より2月8日(金)まで、基礎看護学実習Ⅰが始まります。初めての实習です。

2年生・・・1月9日(水)より3月1日(金)にかけて、成人看護学実習が始まります。

3年生・・・2月17日(日)に第102回 看護師国家試験を控えています。

3月6日(水) 卒業式

3学年合同・・・3月4日(月) 実習の学び合同発表会 (3学年)

3月5日(火) 予餞会



## ☆終わりに☆

今年は京都大学の山中教授がノーベル賞に輝くなど、医療の目覚ましい進歩もありました。そんな日々発展していく医療の中で、私たちは、ひとの温かみを忘れず、患者様に寄り添うことのできる看護を目指して頑張っていきたいと思っています。人と人が触れ合う場だからこそ、できることを考えていきます。左の写真は学校玄関前の植木をクリスマスツリーにしたものです。これは患者様の提案からはじまり、学生会が中心となって飾り付けしたものです。たくさんの患者様が見に来てくださりました。これからも毎年飾り付けしていきたいと思ひます。また見に来て頂けたらと思ひます。

次回12号では実習や第102回看護国家試験、予選会など報告したいと思ひます。寒さも一段と厳しさを増しますが、お体には気を付けて、よい年をお迎えください。来年もよろしくお願ひいたします。

